

このごろ、手足が思うように動かない。

食事は、妻に「やし」してもらっている。

僕が（たくさんだな…こんなに食べられるのかなあ…）と迷っていても

妻は迷わず口の中へ食事を入れてくれる。

僕が「もう、いいよ」と断っても

妻は「もう一口だけ！」次から次へと口へ入れてくれる。

僕「もう、いいよ、妻」「もう一口！」「あと、ちよつとだけ！」

本当の「もう、いいよ」が来るまで、次々と食事は口へ運ばれる。

日常生活のひとつま。

おばあちゃん（妻の母）が亡くなるとき、嘔吐した。

みんなで肩を叩いたり、声をかけたりしたとき、おばあちゃんは

「もう、いいよ」と言った。これが最期の言葉。

いろいろな「もう、いいよ」が、ゆらゆらと頭の中に浮かんでいる。

世の中は、コロナコロナと騒いでいる。

人間は本来、人と仲良くしていたわり合うものなのに

「仲良くしてはいけない」「学校へ行つてはいけない」

などと不安感をおおって、人間を不安におとし入れるための手段なのだろうか。

日本から金をしぼりとるための手段かもしれない。

だまされてはいけない。少し手足の自由がきかなくても、

自分で真実を見極めることは、忘れない。忘れてはいけない。



illustration / 信子

信州飯田ふるさと会連合会 元会長
弁護士 平田 達 (中47回)

〒101-0076

東京都千代田区五番町一番地九

MG市ヶ谷ビルディング6階

平田法律事務所

TEL 03-3322-0201

FAX 03-3322-1161